

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(主)中津川田立線					
事業毎の通番		16	市町村名	南木曾町	箇所名(ふりがな)	田立(ただち)				
事業概要	事業目的	本路線は、南木曾町と岐阜県中津川市の県境に位置し、沿線住民にとって生活基盤である中津川市へ移動する唯一の生活道路であるが、乗用車同士のすれ違いも困難なほど幅員狭小で、見通しの悪い状況にある。								
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	都市計画法、道路法					
	関連する事業、計画等	木曾川右岸道路								
	保安対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量: 1,300台/日								
	着手年度	平成27年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	2.9	国庫	600,000	其他	360,000	県債	40,000
	全体事業内容(主な工種)	道路改築工L=1,200m うち橋梁L=113m(110m+13m)、W=5.5(9.25)m			1,000,000	600,000		360,000	40,000	
年度事業内容(主な工種)										
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少 災害に強い道路								
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進								
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○代替道路の有無: 国道19号(雨量事前規制区間) ○交通結節点アクセス: JR田立駅への1次アクセス道路 ○生活支援・観光振興: 県立木曾病院、岐阜県坂下病院へのアクセス ○地域の活性化: 高さ制限の解消 							評価	A
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> ○関連計画、重点施策との整合: 総合5か年計画(リニア駅アクセス)、木曾川右岸道路、木曾地域振興計画 ○緊急輸送道路の路線指定: 国道19号代替の避難路 ○地域指定: 南海トラフ地震防災対策推進地域 							評価	A
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ○費用便益比(B/C): 2.6 ○事業期間: 6年 ○工法等の比較検討: ルート比較検討 ○他事業との連携: リニア関連 							評価	A
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ○近年の交通事故件数: 人or自転車×自動車事故発生 1件 ○渋滞及び騒音・振動の緩和: 国道19号通行規制時に発生する渋滞緩和 ○歩道整備: 歩道未整備区間に歩道整備 ○現況の幅員、半径、勾配: 現況最小幅員2.5(3.5)m 							評価	A
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> ○事業情報の共有: 今後調整 ○地域の取り組み: 地元から改良要望書の提出あり ○地域の合意形成: 今後調整 ○住民との協働: 今後調整 							評価	C
	部意見	事業の必要性、重要性、効率性が高いが、地域の合意形成など計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。	行政改革課意見	必要性、重要性が認められる。	評価結果	総合評価				B

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は、南木曾町と岐阜県中津川市の県境に位置し、沿線住民にとって生活基盤である中津川市へ移動する唯一の生活道路であるが、幅員狭小で見通しの悪い状況にある。平成12年度から長野・岐阜両県の沿線住民が中心となり、PI方式により住民の要望、意見を取り入れルート選定を実施し、現道改良案で改良することとしたが、PI方式のルートは事業規模が大きいため、現在までは当面の安全確保策として待避所の設置にとどまっている。		
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	計画策定段階から住民が参加するPI方式により、現道拡幅案ルートが選定された。その後、H14.9.30木曾建設事務所長に早期事業化に向けての要望書が提出される。H14.10.11長野県知事・土木部長に早期事業化に向けての要望書が提出される。		
③事業説明等の経緯	PI方式により、H13.1~H14.7の間に計6回の「(主)中津川山口線ルート選定協議会」が実施された。H13.11に説明会を実施(基本計画及び測量立入)。H14.2.5地元説明会を実施。		
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	岐阜県との調整を要する。木曾川右岸道路南部計画区間との継続区間である。		
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	地域住民の意向に沿った工法を検討する。		
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、付近の商業施設等の活性化も期待される。		
⑦その他	コストの縮減が期待できる案を採用している。	事業代表地点の緯度経度	北緯: N 35° 35' 06" 東経: E 137° 32' 50"